

プロポーザル結果について

令和4年7月22日付で公募したプロポーザルについて、次のとおり特定しましたので、お知らせします。

令和4年9月7日

富山市長 藤井 裕久

記

- 1 業務名
中山間地域シビックテック業務委託
- 2 受託候補者の特定日
令和4年9月1日
- 3 参加者
一般社団法人コード・フォー・ジャパン
- 4 選考委員会委員
委員長 前田 一士 企画管理部長
副委員長 刑部 博規 財務部次長
委員 越野 伸二 市民生活部次長
委員 長 康博 商工労働部次長
委員 富士原 禎 富山県地方創生局ワンチームとやま推進室
中山間地域対策課長
- 5 評価基準及び評価結果一覧表
別紙のとおり
- 6 特定した参加者名
一般社団法人コード・フォー・ジャパン
- 7 提案額
4,416,500円（消費税及び地方消費税含む）

(担当) 財務部契約課工事契約係
(電話) 076-443-2025
(メール) keiyaku-01@city.toyama.lg.jp

評価基準及び評価結果一覧表

番号	評価項目	評価の考え方・着眼点	評価	
			配点	一般社団法人 コード・フォー・ ジャパン
1	業務経歴等	<同種・類似業務の実績> ・過去5年間にわたって、十分と考えられる実績があるか。	50	32
2	実施体制	<業務執行体制・人員配置の妥当性> ・指揮系統が明確で、業務の分担や責任の所在が明らかとなっているか。	100	52
3		<取組方針・実施スケジュール> ・具体的で詳細なスケジュールが提案されているか。 ・実現可能性のある無理のないスケジュールであるか。	100	68
4	提案内容	<提案内容の的確性> 事業目的の達成のために中山間地域の課題の適確な整理と把握のためのプロセスが示されているか。	100	56
5		<提案内容の実現性①> 地元関係者等と連携して、対象地域現地の条件に関する事前調査・事前調整を十分に行い、円滑に業務を遂行するための具体的な方法が提案されているか。	100	56
6		<提案内容の実現性②> 県外の高度テック系人材誘致のため、自社のネットワークを活用した具体的周知方法が提案されているか。	100	72
7		<提案内容の独自性①> アイデアソン・ハッカソンの材料となる地域課題の把握について、地元住民や関係者が一体となって取り組むための具体的な方法が提案されているか。	100	68
8	<提案内容の独自性②> 一連のプログラムにおいて、対象地域の特徴や魅力を十分に発揮できるような設計が提案されているか。	50	30	
9	価格	費用対効果 <提案価格> ・履行に必要な費用の算出根拠が明確か。 ・提案内容に対して価格が優れているか。	50	26
評価の合計(150点満点)			750	460

※(注)表中の点数は選考委員5名の総合計:150点×5名=750点(満点)

本プロポーザルにおける受託候補者は、各委員による評点の合計が90点以上(満点の6割以上)である提案者のうち、評点の合計の最も高い者を選定する。ただし、評点の合計が同値の者が複数いる場合は、最も高い評点を得た委員数の多い提案者を受託候補者として選定する。

上記の選定においても受託候補者が決定しないときは、抽選とする。

一者のみ参加のときは、あらかじめ決定した選定最低基準点を満たしていれば受託候補者として特定することとする。